

2018 年度第 3 四半期 決算説明会 Q&A

Q: コンデンサの価格是正交渉の進捗状況を教えてください。

A: 価格是正の交渉は予定通りに進捗しています。得意先との関係もあり詳細については控えさせていただきます。

Q: 車載関連の来期の需要について教えてください。

A: 現在予算を策定中ですが、来期も電装化の進展による旺盛な需要を見込んでおります。

Q: 5G 通信の今後の見通しを教えてください。

A: 5G 通信については様々な取組みを進めています。2020 年度以降に本格的な影響が出てくるのではないかと考えています。

Q: メトロサークの状況について教えてください。

A: 売上については、18Q2 にスマートフォン新モデル向けに前四半期比で大きく伸長し、18Q3 は若干の減少となりました。18Q4 は季節変動が大きく前四半期比で減少を見込んでおります。

Q: 18Q3 および 18Q4 の操業度について教えてください。

A: 全社の操業度が 18Q3 は 20 日稼働日ベースで 105%となり、18Q4 は 20 日稼働日ベースで 90%を見込んでいます。コンデンサの操業度は 18Q3 が 27 日稼働日ベースでは 100%となり、18Q4 は 27 日稼働日ベースで 95%を見込んでいます。

当 Q & A に記載されている、当社又は当社グループに関する見通し、計画、方針、戦略、予定、判断などのうち既に確定した事実でない記載は、将来の業績に関する見通しです。将来の業績の見通しは、現時点で入手可能な情報と合理的と判断する一定の前提に基づき当社グループが予測したものです。実際の業績は、さまざまなリスク要因や不確実な要素により業績見通しと大きく異なる可能性があります。これらの業績見通しに過度に依存しないようお願いいたします。また、新たな情報、将来の現象、その他の結果に関わらず、当社が業績見通しを常に見直すとは限りません。実際の業績に影響を与えるリスク要因や不確実な要素には、以下のものが含まれます。

(1) 当社の事業を取り巻く経済情勢、電子機器及び電子部品の市場動向、需給環境、価格変動、(2) 原材料等の価格変動及び供給不足、(3) 為替レートの変動、(4) 変化の激しい電子部品市場の技術革新に対応できる新製品を安定的に提供し、顧客が満足できる製品やサービスを当社グループが設計、開発し続けていく能力、(5) 当社グループが保有する金融資産の時価の変動、(6) 各国における法規制、諸制度及び社会情勢などの当社グループの事業運営に係る環境の急激な変化、(7) 偶発事象の発生、などです。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

当 Q & A に記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新し公表する責任を負いません。